

中央発條陸上競技部

2022年度版 社会貢献活動報告書

(2022.4.1-2023.3.31)

記入者：原嶋溪

① 活動名	
視覚障がいランナーのサポート活動の継続	実施日/期間

*交通費実費や社会通念上妥当な菓子折り等の謝礼の受領は「無償」に分類してください。

概要・活動の狙い(自由記述)

*対象者、人数、具体的実施内容、取組み時に工夫した事、成果などを記載ください。
*活動が分かる資料があれば、PDF等により別紙添付してください。

■活動内容

1) ブラインドランナー 和田選手（長瀬産業所属）のサポートを2022年に引き続き、継続。
練習や大会でのガイドを実施。また今年はガイドのみならず、和田選手の記録更新をアシストするために
試合等で専属ペースメーカーも行った。

2) SNS等を利用して、和田選手との活動やブラインドランナーに関する情報を発信。

3) 和田選手 講演会を実施

■狙いや取り組みに対する思い

企業スポーツとして「勝った・負けた」だけではなく、もっと社会に対して私たちにしかできない使命があるはず。その理念の下、ブラインドランナーのサポートを2021年より開始しました。

私たち、実業団選手がブラインドランナーの伴走や実業団での練習ノウハウを共有することで、ブラインドの選手の競技力向上、そしてブラインド競技会全体のレベルアップに繋がる可能性があります。

弊社陸上部に加え、SUBARU陸上部さんも昨年から同様な活動をされており、今後、その他の実業団選手やトップランナーも伴走に手を挙げてくれるようになれば、ブラインドマラソンの認知が高まります。

そうなる事で、パラスポーツがもっと身近になり、パラスポーツとの垣根が低くなることが期待できます。視覚障がいに対する理解にも繋がります。

また、国際大会に出場するようなブラインドランナーは一握りで、殆どのブラインドランナーはランニング愛好家です。しかし、伴走者の高齢化・減少が進んでおり、ガイドを必要とするランナーの走れる機会が減少している状況が実態です。こういった活動をきっかけに、伴走に興味を持ち、伴走をしてくれる人が増えて欲しい。そして、ランニングの楽しさをもっと多くの人に知ってもらいたい、分かち合える社会になって欲しい。障がいがあるから走れないのではなく、障害があってもみんなとランニングを一緒に楽しめる環境を作りたいと思っています。

視覚障がいの方が競技大会に参加する場合、障がいの程度が成績に影響しないように、障がいの程度に分かれる「クラス分け」がなされる。

クラス	区分	主なブラインド選手（成績）	
T11	<u>ガイド必須視力</u> 0.0025未満	<u>和田伸也選手(長瀬産業)</u>	東京パラ1500m2位、5000m3位
		唐澤剣也選手(SUBARU)	東京パラ 5000m 2位
T12	<u>ガイドと走るか単独で走るか選択できる</u> 視力0.0025から0.0032まで、または視野直径10度未満	堀越信司選手(NTT西日本)	東京パラ マラソン3位

■主な実施内容

分類	NO.	日付	内容	対応者	備考
大会	2021年度実施				
	1	8/27	東京パラリンピック T11 5000m 3位 15分21秒03	矢嶋	
	2	8/31	東京パラリンピック T11 1500m 2位 4分05秒27	矢嶋	アジア新記録
	3	9/6	東京パラリンピック T11,T12混合 マラソン 9位 2時間33分05秒	矢嶋	パラリンピック記録(T11) ハーフ通過世界記録公認(T11)
	4	2/6	別大マラソン(日本視覚障がい男子マラソン) T11,T12混合 マラソン 1位 2時間26分18秒	矢嶋 佐藤	世界新記録
	2022年度実施				
	5	5/1	第9回木南道孝記念陸上競技大会 T11,T12 1500m 2位 4分16秒27	矢嶋	
	6	8/28	北海道マラソン 視覚障がい者男子 マラソン 1位 2時間29分50秒	矢嶋	大会新記録
	7	11/23	第9回京都陸協記録会 男子5000m 3組 7着 15分00秒31	山本	自己新記録 (山本はベースメーカーとしてサポート)
	8	1/29	2023大阪ハーフマラソン 日本陸連登録の部 男子 214位 1時間09分37秒	矢嶋 山本	自己新記録 (矢嶋は伴走 山本はベースメーカーとしてサポート)
	9	2/26	大阪マラソン2023 (予定)	矢嶋 山本	
練習	10	4/5	チーム練習に参加 (合同トレーニング)	全員	所在 瑞穂(名古屋) 御岳(岐阜) 御岳(岐阜) 富士見(長野) 島田(静岡) 大阪 大阪 宮古島(沖縄)
	11	5/2～5/5	チーム合宿に参加 (合同トレーニング)	全員	
	12	6/17～6/22	中部実業団連盟合宿に参加 (合同トレーニング)	矢嶋・佐藤	
	13	7/5～7/9	チーム合宿に参加 (合同トレーニング)	矢嶋・原嶋・山本	
	14	12/10～12/12	チーム合宿に参加 (合同トレーニング)	全員	
	15	1/8	練習に派遣	山本	
	16	2/4～2/5	練習に派遣	矢嶋・山本	
	17	2/13～2/19	パラ連盟合宿に派遣	矢嶋	
その他	18	3/14	講演会 (社内対象)	全員	実施予定

<活動の具体的内容>

NO5 第9回木南道孝記念陸上競技大会

矢嶋は、昨シーズンまではトラック種目は5000mのみ5000mのみガイドを担当していたが、木南記念で初めて1500mのガイドにも挑戦した。



NO8 2023大阪ハーフマラソン

今大会は記録への挑戦のため、ガイドランナーの矢嶋だけでなく、ペースメーカーとして山本もサポート。自己記録更新をアシストした。ブラインドランナーのレベルが向上していることを実感するとともに、今後ブラインド競技会のさらなる発展に向けて、ガイドのみならず、記録更新のためのサポートを続けていきたい。



▲ガイドとしてサポートする矢嶋



▲ペースメーカーとしてサポートする山本

NO10 チーム練習に参加（合同トレーニング）

弊社陸上部の練習に和田選手が参加。部分的なトレーニングに参加したり、チームメンバーと意見交換を行う。生活面でのサポートも実施。

また、ブラインドマラソンの認知向上や視覚障がいに対する理解を深めるべく活動内容をSNSで発信。

今年度からはチーム合宿に加え、初の試みとして陸上部の拠点である名古屋でも練習を行う。

地元のランナーの方々と交流することができ、ブラインドマラソンを知ってもらえる良い機会ともなった。



NO17 パラ連盟合宿に派遣

和田選手のガイドランナーとして参加。合宿中、伴走や生活面でのサポートを行った。

また、和田選手のサポートだけでなく、他のブラインドランナーと交流することができ、ブラインドランナーの現在の実態や伴走者の実情など、様々な意見交換を行った。

視覚障がいに対する理解が深まり、社会に対してさらにブラインドの世界を知ってもらおうと思える良い機会となった。



②

活動名

田原市西の浜クリーンアップ活動

実施日/期間 2022/7/18

*交通費実費や社会通念上妥当な菓子折り等の謝礼の受領は「無償」に分類してください。

概要・活動の狙い(自由記述)

■活動内容

環境ボランティアサークル「亀の子隊」主催による田原市の海岸のごみ拾いや海をきれいにするための啓発活動に参加

■狙いや取り組みに対する思い

この活動は「田原市渥美町の西の浜をきれいにする活動を通して三河湾、伊勢湾、ひいては世界の海をきれいにしようとする心を広げる」ことを目的とされており、そうした地域の方々の思いに対して、少しでも力になれるかということで、2年ぶりに「亀の子隊」の活動に参加させていただきました。

また今回活動した清掃場所である田原市は中部北陸実業団駅伝の開催地でもあり、地域の方や子どもたちと清掃をする中で、地域とチームの交流が生まれ、選手たちやチームを認知してもらい、さらに応援してもらう良い機会にもなりました。

選手たち自身も現場で実際に清掃する中で、環境について考えるきっかけになったり、応援してくれる方々がいることを改めて直接感じることで、競技に対する見つめ直すきっかけともなり、競技意欲向上にも繋がりました。

■活動の様子

各選手分かれて海岸に落ちているごみを拾う。今回の活動全体で約200kgのごみを回収

ゴミ拾いの様子（吉岡、矢嶋）



参加した選手たち（7名）



監督からの挨拶



③活動名	
チーム合宿・練習でのジュニア選手との交流	実施日/期間 2022/5/5、7/21、8/29～9/7、2023/1/28

*交通費実費や社会通念上妥当な菓子折り等の謝礼の受領は「無償」に分類してください。

概要・活動の狙い(自由記述)

■活動内容

中学、高校、大学のジュニア選手たちをチームの合宿や練習に招き、選手たちと一緒にトレーニングを実施。練習後、合宿中には意見交換などを行う。競技力を高めるためのアドバイスや選手の経験談などを伝えることでカテゴリーの垣根を超えた交流を深めた。

■狙いや取り組みに対する思い

1) ジュニア世代の競技力アップの手助け

これからの陸上界を担うジュニア世代の選手たちが、実業団選手と同じ練習を実際に一緒に行うことでその経験を自信にしてもらい、よりレベルの高い競技意識を持つきっかけにしてほしいという思いがあります。そして、そこで得た知識や肌で感じたことを所属するチームに持ち帰り、他のジュニア選手たちにも還元することができれば、ジュニア世代全体の競技力向上に貢献できると考えています。

また中学生、高校生の中には、練習パートナーがいない、ポイント練習ができる場所がないといった競技環境が厳しい選手たちも多いです。中には全国レベルの選手もいるなか、ジュニアの年齢では自分で環境を整えることは非常に難しいです。そういう状況下の選手たちが少しでも良い練習環境でトレーニングできる場を提供することでさらなる力を引き出しきっかけになればという思いがあります。

2) 実業団選手の魅力を伝える

近年では、ジュニア世代の憧れや夢が「ニューイヤー駅伝」ではなく「箱根駅伝」で活躍したいという選手が多く見受けられます。そのような中で、力のある大学生の中でも、目標が箱根駅伝だったから大学で競技を終えるといった燃え尽きの選手が多くなっていると思います。陸上界をさらに盛り上げていくために、大学、実業団とレベルアップしてほしい。そこで、中学生や高校生のうちから、実業団選手と交流を持つことで、競技力だけでなく、将来の競技ビジョンとして、大学が過程になるのではなかと考えます。大学駅伝と比べると実業団のメディア露出は少なく、知られていない部分も多くあると思います。こういった交流を通して、実業団に興味をもってもらえるよう実業団選手の魅力も一緒に伝えていきたいです。

3) 地域から応援される、地域を盛り上げるチームへ

この活動を通して、ジュニア世代だけでなく、そのご両親や学校の方々といった周囲の人たちにもチームのことを認知してもらい、地元の方々から応援されるチームにしていきたいと考えています。今後の陸上界、実業団をさらに盛り上げていくために、走りで感動を与えるだけでなく、地域との交流を交えて、より地域の方々に身近な存在となって、地域を盛り上げられるようにしていきたいと思います。

■主な実施内容

分類	NO.	日付	内容	場所	所感
中学生	1	5/5	朝練習 20k集団走 ベース：4'00～3'50 10kまで集団走に参加	御岳	初めての高地トレーニングだったが しっかりと最後まで練習ができた。
高校生	2	7/21	ポイント練習 2000m + 1000m 5'35 2'45 すべてのメニューに参加	知多	普段はできない質の高い練習を行う。 実業団選手の力を借りながら、すべての メニューをこなした。
高校/大学	3	8/29～9/7	チーム合宿に参加 全日程 高校生1名（豊田大谷） 8/29～9/4 大学生1名（星槎道都大） 9/1～9/5 大学生4名（芝浦工大）	千歳	夏合宿に参加。練習だけでなく、 生活の中でも交流することができた。
高校(女子)	4	1/28	ポイント練習 30k走 ベース：3'30 集団について、5kを2セット行う	名古屋	男子だけでなく、女子選手も参加。 工夫して、質の高い練習ができた。

■活動の様子

NO1 20k集団走の様子



<黄緑色シャツの選手が参加した中学生>

NO2 ポイント練習前 ミーティングの様子



<黄緑色シャツの選手が参加した高校生>

NO3 チーム合宿 ポイント練習の様子①



<星槎道都大の選手がBチームの練習に参加>

ポイント練習の様子②



<Aチームの練習に参加した高校生(黄緑色シャツ) >

チーム合宿 朝練習の様子



<芝浦工大の選手たちが参加した様子>